

に思います。

こうした状況から、本県の財政健全化は喫緊の課題として取り組んでいただきたいと思います、所見を伺います。

**答** 中期的に大変厳しい財政運営が予想されるため、平成12年度予算編成では、早い時期からスプリング・レビューに取り組み、行財政の体質改善を図ってきました。

今後、総合計画の数値目標、予算編成、事業執行、事務事業評価システムのプラン・ドゥー・シーを適切に回していくことにより、数値目標の達成と効率的な財政運営の両立を図っていきたいと考えています。

●その他の質問事項

- ・教育改革
- ・本県の電源立地対策

他

県民連合

地方分権

上野 一人 議員  
(久居市選出)

**問** いわゆる地方分権一括法が成立し、住民に身近な行政はできるかぎり地方公共団体に委ねることを基本とし、地方の自主性及び自立性を十分に発揮できるようにしなければなりません。

市町村は独立した自治体であり、その意思を尊重するのは当然のことですが、住民の利益を考え、市町村に適切なアドバイスをするのも県の重要な役割です。

近年、国は合併特例法を改正し、市町村合併を推進しようとしています。

そこで、本県の市町村合併への取組の進み具合、意気込みなどについてお聞きます。

**答** 市町村の合併については、地域において十分な議論を尽くすことが不可欠であることから、県としては、市町村に対し必要な情報の提供や助言を行っていきたくと考えています。

そのため、「市町村の合併の推進についての要綱」を策定することとし、県、市町村長の代表者及び学識経験者で構成する委員会を設置し、検討を行っているところです。

また、アンケート調査や懇話会等により、各地域、各方面からの意見を広く聴取するとともに、合併に関する活発な議論の場を創出していきたくと考えています。

●その他の質問事項

- ・治安行政
- ・公共用地の取得

他



一般質問

教育改革

橋川 隼也 議員  
(自由民主党議員団・度会郡選出)

**問** 議会における論議や教育委員会が実施した調査によると、子供たちにルールを守れという学校現場が、悪しき慣行に従ってルールを守らない、また、教育委員会が当然行うべき指導力向上のための研修も職員組合に頼り、人事への介入まで許してきた実態が明らかになりました。このことを教育委員会としてどのように感じているのでしょうか。

教師がルールを守り、自らを律しなければ、必ず子供達に矛盾を見抜かれ、教師の権威を失墜させてしまいます。21世紀に向かって、県民とともに協働で三重の教育を立ち上げることが必要です。

今後、本県の教育をどのように改革していこうとしているのか、所見を伺います。

**答** 児童生徒を中心とする学習者起点の教育の実現に向けて、特に教職員の意識改革を図り、開かれた学校づくりを進めていかなければならないと考えています。そのためにも、各学校が前例踏襲、横並び意識をなくし、特色ある学校づくりを進める改革に全力で取り組んでいく決意です。

●その他の質問事項

- ・国旗国歌の実施状況
- ・私学と公立の募集定員比率

他

芦浜原発問題

櫻井 義之 議員  
(県政会・亀山市・鈴鹿郡選出)

**問** 開会日に、知事が、芦浜原発計画問題に対する意志を表明されました。20世紀の本県が積み残してきた重要課題を総括され、新しい第一歩を踏み出すべく、勇気あるリセットボタンを押されたこの政治判断に心から敬意を表します。

しかしながら、問題は、今後のあるべき姿に向かって、現実的な解決策をもってどう実行に移すかにあります。知事は、この問題が長きにわたったことについて、県にも責任の一端があると表明されましたが、県の責任とは何なののでしょうか。また、37年間でどのような教訓を得たのか、



芦浜

所見をお伺いします。

**問** 県議会で採択された請願を受けて、冷却期間中、実情調査など地域の状況把握に努めてきましたが、その中で、地域住民が、原子力発電所の立地についての推進、反対の対立が続いていることにより、地域住民が長年にわたり苦しんでみえることを強く感じました。現実として、このような状態が長期間続いてきた結果について、その責任の一端が県にあったと考えています。また、教訓として行政上の課題は、常に生活者起点や時のアセスメントの観点から真摯に見つめ直していくことが大切であると考えています。

●その他の質問事項

- ・外形標準課税
  - ・産廃埋め立て税
- 他

## 県の農業振興

舟橋 裕幸 議員  
(県民連合・津市選出)

**問** 昨年、従来の農業基本法が、改正されました。県は、「三重のくにづくり宣言」において、安心を支える力強い農林水産業の振興を提起されていますが、今後の農林水産業の方向、食料自給率向上対策、米の生産調整対策など、県はどのように農業振興を図っていくのか、お伺いします。

また、農林水産業の振興のためには、農地、海、山林と、そこに住み働く人、さらに行政の各事業を有機的に結びつけなければいけません。現場の第一線で活躍する改良普及員が、大幅に削減されていますが、考え方をお伺いします。

**答** 新基本法は、国民・生活者に軸足を置いたものと改正されました。本県としては、これを踏まえ、地域内で生産される農林水産物を地域内で消費する「地産地消」の考え方を基本に、安全な食料の安定的な生産、土地利用の高度化、担い手育成の推進を3つの柱に一層、県民・消費者に顔を向けた農林水産業の振興を図っていきます。

また、それぞれの地域や現場において、時代に即応した農業経営の新技术を導入する際に指導力を発揮する農業改良普及事業を中核に、21世紀の三重県農業を担う人づくりに取り組んでいきます。

●その他の質問事項

- ・フロンガス対策
  - ・アクセス港整備
- 他

## 漁業環境整備等

貝増 吉郎 議員  
(自由民主党議員団・桑名市選出)

**問** 伊勢湾という大きな財産の保全管理と総合発展を目的に、三重、愛知、岐阜、名古屋市の3県1市の長を代表として伊勢湾総合対策協議会が設置されています。

しかし、ごみ処分場の新設予定や、河川からのごみや生活雑排水の流入による漁業被害等の問題が生じています。協議会が設置されているからといって、学者のように研究

などに専念せず、三重県で生じようとしている損害に断固として、立ち上がるべきです。

また、本年4月より実施される新農業基本法に基づく県下の農業施策はどのように指導するのか。減反や転作指導に大きな指導力をもつ改良普及員を削減ではなく増員しては如何か、お聞きします。

**答** 本協議会の主な活動内容は、伊勢湾の総合的な利用と保全に係る指針の策定とともに、個別課題への対応として、3県1市の環境部局で組織する環境問題研究会を設置し、流木等ごみ対策の検討などを行っています。

廃棄物処理問題などは、今後、愛知県などに働きかけ、この協議会で取り上げられるよう取り組んでいきます。

また、改良普及員については、事業の中で地域社会と絡み合っ議論を重ねてきた経緯もあり、説得力や、コミュニケーション能力の高い職員が多く、県の体質を変えるためにも、普及事業のみでなく、その他の分野でも活躍してもらう所存です。

●その他の質問事項

- ・木曾岬干拓地問題
  - ・教育問題
- 他



伊 勢 湾

## 学校徴収金システム

芝 博一 議員  
(県政会・鈴鹿市選出)

**問** 県教育委員会では、現在、県立高校の集金、すなわち県費外会計の取扱いについて指針を作成し指導しようとしています。

しかし、昨年2月現在で181校の幼稚園、小中学校が、三重県教職員組合と関わりが深い財団法人の運営するシステムを導入し、学校徴収金を口座振替しており、手数料だけでも年間20万円、その取扱額は20数億円にも上っています。

学校現場や地域教育委員会とは異なる第3者が介在するこの集金システムは、生徒の人権やプライバシー保護上、問題があり、県民に不信感を与え、説明責任のつきにくい異常な事態といえます。早急に廃止、是正するよう各地域教育委員会を指導すべきだと考えますが、所見をお聞きします。

**答** 平成12年度は、203校が同財団に徴収事務を委託する予定で、年間280円を保護者に負担していただくことになるかと聞いています。委託先は、民間金融機関などを含め、保護者負担等総合的に勘案し、PTA会議などで決定していますが、制度に問題があるならば、市町

村教育委員会と協議していきたいと考えています。

●その他の質問事項

- ・第二名神側道整備の推進
- ・第三セクターの見直し

他

## 大型公共施設の予算

島本 暢夫 議員

(自由民主党議員団・北牟婁郡選出)

**問** 県民多数の署名と議会の請願採択により90年代前半に大型文化スポーツ施設が整備されました。他県と比べても遜色のない、三重のステータスシンボルと評価できるものです。しかし、最近の財政事情や民間の経営手法で計算すると負の財産と言われかねません。

文化、スポーツ、教育に関わる施設は、心の豊かさや暮らしの潤い、心身の健康、生涯学習など、収益性だけでは計れない社会資本です。

新年度予算では、管理費や事業費が相当削減されているようですが、これで利用者の安全や自主企画事業の水準が維持していけるのか、お伺いします。

**答** 管理運営費については、県民サービスの低下を招かないように業務運営の改善で節減を図っています。また、自主企画事業については、複数年予算枠の設定を検討するなど、効果的な事業実施に努めていきたいと考えています。

今後とも、サービスの最大化、設備投資・施設運営費の最小化、変化への柔軟な対応など、総合的、戦略的な企画運営に努めていきたいと考えています。

●その他の質問事項

- ・新産業社会づくり予算
- ・東紀州地域の対策

他

## 人事システム改革

前田 剛志 議員

(県政会・津市選出)

**問** 地方分権がますます進むなか、三重のくにづくり宣言を限られた予算、人員で確実に実行していくためには、徹底したスクラップアンドビルドとともに、政策形成能力などの人材育成が重要です。努力が適正に評価されることで、やりがい生まれ、ひいては人材育成につながっていくのではないのでしょうか。そのためにも、評価方法を減点方式から加点方式に、登用についても年功序列ではなく積極的な選抜登用に改めるべきだと考えます。

また、年俸制を取り入れる民間企業があるなか、行政としても、生活給と能力給を分けた賃金体系を構築すべきではないのでしょうか。

現在検討中の人事システム改革の方向性と新年度の具体的な実施内容をお聞きます。

**答** 意欲や能力を持った多様な人材の育成確保が重要だと考え、採用から退職までの全般にわたる抜本的な人事システムの見直しを平成14年度を目途に行っています。

平成12年度は、採用試験の改革や新規採用職員研修の充実、課長級以上の管理職員に対する新たな勤務評価制度の導入などを予定しています。

●その他の質問事項

- ・介護保険
- ・中部国際空港への海上アクセス

他

## 救急医療システム

溝口 昭三 議員

(自由民主党議員団・津市選出)

**問** 高齢化社会を迎え、脳卒中や心筋梗塞などの救急患者が増えています。また、交通事故も今なお多発しており、救急医療に対する県民の期待はますます高まっています。救急医療体制の整備は県をはじめとする地方公共団体の役割であり、責務だと思います。

しかし、県都津市の場合、民間病院では脳や心臓外科の専門医が不足しており、最後のとりでともいえるべき三重大医学部附属病院も約1割しか救急患者を受け入れていません。

県の保健医療計画や三重のくにづくり宣言には救急医療の必要性が記述されていますが、行政改革の中で医療政策が萎縮しているのではないのでしょうか。救急システムのバージョンアップが求められますが、所見をお聞きます。

**答** 救急医療の充実については、医療提供体制を整備していく上で重要な課題の1つだと認識しています。

具体的には、県保健医療計画の中で、救急医療体制の整備充実、救急医療機関の機能分担、救急医療機関と救急隊との連携強化、広域災害・救急医療情報システムの拡充などに取り組んでいます。

●その他の質問事項

- ・県立高校の再編活性化
- ・空港建設による漁業影響

他



メインストレッチャー

## 伊勢湾の再生

中村 進一 議員

(県民連合・伊勢市選出)

**問** 先日、伊勢市で漁協の方がみずから講師になり、地域住民の皆さんを対象に伊勢湾のヘドロ問題、環境対策などについて学習会を開催されていることをお聞き

しました。伊勢湾の再生は、さまざまな角度から県民一人ひとりが意識を持って取り組むことが必要です。行政による環境対策も必要ですが、草の根運動として、例えば家庭排水の勉強会、合成洗剤の影響を考える会など、市民活動の取り組みが大切だと実感しました。

市民活動との連携・協働は、行政のあらゆる場面で重要な課題となってきますが、このような市民運動をどのように支援していくのかおたずねします。

**答** 個人やグループの環境保全活動を支援することを目的に、三重の21世紀環境創造活動支援基金の運営母体として、去る2月5日に三重環境県民会議が設立され、現在、助成金申請の受付中です。また、環境県民運動のキックオフ・イベントとして、MIEみんなで創る環境フェアを開催するなど、さまざまな県民運動が展開されるよう取り組んでまいりたいと考えています。

●その他の質問事項

- ・芦浜原発計画撤回後の振興策
  - ・教育の諸課題
- 他

三重県らしい施策等

水谷 俊郎 議員

(自由民主党議員団・員弁郡選出)

**問** 地方の時代には、地域地域にあった独自の施策が必要だと考えます。そのためには、民間のノウハウの活用も視野に入れた、市町村の先進的な取り組みに対して、県の機関をフル活用しバックアップできる「民間活力活用支援事業(仮称)」のような制度の創設について、所見をお聞きます。

また、事務事業評価システムですが、目的や基準が不明瞭など、いくつかの問題点を抱えています。これをより完全なものにするため、併せて他の手法の評価システム「職務活動適正評価システム(仮称)」を導入すれば、より住民満足度や質の高い行政サービスを提供できるシステムになるのではないのでしょうか。

**答** 今後、民間の資金・ノウハウを生かせるPFI事業を市町村自らが取り組む場合には、行政システムの変革を進め、生活創造圏づくりを効果的に進める点でも、県として必要な支援を行うべきだと考えており、今後研究・検討していきます。

また、他の手法の評価システムの併用導入ですが、指摘のような角度で検討し、研究しながら、取り組んでいきたいと考えています。

●その他の質問事項

- ・内水面漁業組合の問題点
  - ・公共の限界と県民の役割
- 他

今後の伊賀への県政の取り組み

辻本 進 議員

(県政会・名張市選出)

**問** 伊賀は県税収入では四番目、人口でも決して他の地域に劣っていません。しかし、伊賀に県政なしといわれてきました。

知事は、伊賀や紀州に対してはいろいろ気配りしていただけていますが、県道の改修率は63パーセントと県平均66・1パーセントより低く、名張市に限れば28パーセントしかありません。また、県営下水道もまだありません。

必ずしもハードばかりが県政ではありませんが、今後の伊賀への県政の取り組みについて、所見をお聞きます。

**答** 伊賀地域は、関西と強い結びつきを持って発展してきました。

また、俳聖松尾芭蕉の生誕地であり、豊かな歴史、文化を育んできました。これまで、上野新都市整備事業による新たなまちづくりやケーブルテレビ施設整備による情報基盤整備を進めるとともに、伊賀甲賀連絡道路、伊賀水道用水供給事業などに取り組んでいるところです。更にこの地域は、首都機能移転候補地でもあり、伊賀の国の文化、独自性を活かしつつ、関西との連携拠点として一層発展させていきたいと考えています。

●その他の質問事項

- ・首都機能移転
  - ・海洋深層水とベンチャービジネス
- 他

環境問題

真弓 俊郎 議員

(日本共産党議員団・津市選出)

**問** 知事は宮川の環境に大変熱心に取り組んでいますが、20世紀型、治水オンリーの手法では無理があります。また、宮川ばかりでなく、多くの川が救いを待っています。

県都津市の岩田川では25ピコグラムものダイオキシンが検出されました。地元住民からは、岩田川の底に堆積しているヘドロの除去や水質浄化などを求める署名が市に提出されています。

これからは環境の視点から川を考えるとときではないでしょうか。ぜひ環境部門がこの施策をリードしていただきたい。

**答** 平成10年度の国の調査において岩田川でダイオキシンが検出されたとの発表後、国、県では水質調査を実施しましたが、いずれも水1リットル中1ピコグラム以下で推移しています。

また、平成12年度には、大気、水質等のダイオキシン調査地点を大幅に増やし、ダイオキシン及び環境ホルモンの実態を把握するとともに、調査結果を公表し、地域自らが環境保全を考えていく場をつくっていききたいと考えています。

●その他の質問事項

- ・教育問題
  - ・知事の政治姿勢にかかわって
- 他



俳 聖 堂